

道連ニュース

2011年3月号 No.57

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

東日本大震災への 支援活動が取組まれています

3月11日(金)午後2時46分に発生したM9.0の巨大地震・津波そして福島原発の溶融という未曾有の大震災に対して、会員生協では様々な支援活動が取組まれています。

道内では当日の避難勧告に基づく閉店や、大学生協事業連合での予約新学期用品の事前在庫が全壊(仙台・全協在庫5億円?)などの被害がありました。

12日(日)には米などの震災需要で店頭在庫切れなどが発生しましたが、14日には道知事から「災害時における応急生活物資供給等に関する基本協定書」に基づく要請もあり、「生活物資の安定供給について、特段の配慮」が続けられています。

13日(月)からは道医療生協やコープさっぽろでの店頭での呼びかけ(～4月20日)など全ての会員生協で募金運動が取組まれています。道連としては4月4日の臨時理事会で日生協東北地連へ見舞金100万円の

議決が予定されています。

16日(水)にはコープさっぽろから13tトラック2台が岩手県へ、17日(木)には第1陣として宅配トラック8台16名がみやぎ生協へ、21日(祝)には第2陣がいわて生協への支援に派遣されました。全労済生協は延べ30名が山形ルートで、札幌医療生協が3名の医療チームが仙台徳州会病院への派遣が予定されています。

尚、物流ルートの復旧が困難なことから、22日には道知事から「自衛隊を活用した道外被災県への救援物資支援について」依頼があり、会員生協へ案内しています。福島原発での安定化が長期化し、放射能の影響も加わり、被災地に限らず首都圏を含む日本経済・生活全般の問題となってきました。今こそ「助け合いの協同の輪＝一人が万人のために」様々な善意を組織することに留意して息長く取組んでいきましょう。

「賀川豊彦 献身100年記念」

賀川記念館(神戸市)を視察しました

北海道生協連の賀川記念館訪問視察団は2月17日～18日まで神戸市の賀川記念館を訪問し、賀川督明館長や西義人同館参事から賀川豊彦の人と思想、そして業績について講話をいただき、両氏から説明を受けながら記念館を見学させていただきました。この企画は昨年11月の「賀川豊彦に学び 明日の北海道と協同組合を考える」集会に続いて、賀川豊彦の業績を更に深く学ぶ目的で、参加者は麻田会長理事を団長に道内の生協の役職員9名、共栄火災海上保険(株)職員1名でした。

賀川記念館は賀川豊彦が貧民救済に入り活動拠点とした当時の場所に建てられていて、2009年12月に新築され、コミュニティセンターとして地域福祉への貢献をめざし、幼稚園、カフェラウンジ、そして賀川豊彦の活動を紹介するミュージアムなどが入っています。視察団は館内の教会で孫の賀川督明館長から賀川豊彦が「弱い人・貧しい人のために」行なった『救済・

助け合う・自立する・防貧・教育・社会運動のしくみづくり』などの足跡を学びました。また、麻田会長から、酪農学園の校歌『酪農賛歌』(賀川豊彦が作詞し、子息・純基が作曲)の歌詞と楽譜の複製が贈呈されました。



酪農学園の校歌『酪農賛歌』の複製を賀川記念館に贈呈しました

各地区で“支部大会”を開催しています—手稲支部大会—

18支部で構成される生活クラブ生協では3月初旬から各支部大会が開催され、2010年度の活動報告と2011年度の活動方針が承認されました。

その中の一つ、手稲支部大会では運営委員会から「2010年度は『持続可能な支部運営を目指して』を活動テーマに掲げ、一人でも多くの組合員が関われる運営を心がけました。ほとんどのメンバーが就学前の子どもを持ち初めての活動参加ということで苦労もありましたが、すばらしい出会いと発見もあった1年でした。また持続して行くためには何よりも『会って語る』ことが大切だと痛感しました。」と報告。そして「2011年度は『活動の双方向性を目指して』を活動テーマに据えました。そのためには会って語るだけでなくみなさんの声を聞かせて欲しい。また1年間活動して子育て世代に生活クラブをもっともっと伝える必要性を感じたので組合員・組合員外を含めそこに焦点をしばり積極的に行事を組み立てていきたい。」などの方針が提案され、満場一致で承認されました。

最後の運営委員長挨拶は折りしも日本中が未曾有の災害に遭遇している中、「以前の自分なら私には何も

できないと諦めていたと思うが、生活クラブの活動をたくさんの仲間と経験したことにより、自分にもきつと何かしら出来ることがある、と確信を持って言えるようになりました。」との言葉で締めくくられ、皆で被災された多くの方々に思いを馳せ一日も早い復興を祈るとともに、自分で考え自分で行動する、生活クラブの原点をあらためて思い起こした大会となりました。



活動報告と方針が承認された支部大会

・北海道電力生協・

“親しまれ・喜ばれる事業”を目指している職域生協です

ほくでん生協は1989年9月に設立し同年12月から事業を開始した北海道電力関連産業に所属する企業の方がご加入しており、2011年2月末現在の組合員数は約12,000人の『職域生協』です。

主な事業内容は、『物資供給を始め、旅行・自動車・提携カード・提携融資および共済保険』事業に携っています。

活動として、例年9～10月に掛けて各生損保会社と協力し全道の事業所を訪問し、共済保険に関わる説明会を実施し加入促進の取り組みを行っています。また、年に約10回程度各種機関会議や研修に赴き、生協事業の説明・理解活動を行っています。

特に各種研修では当生協専属のFP（ファイナンシャルプランナー）も同行し各年代別に分けた講義も実施するなど、理解を深めていただく活動を行っています。

す。

今後も時代の変化を的確に捉え、加入組合員に『親しまれ・喜ばれる事業』を展開して参ります。



道内各地で開催されている「新入組合員・三年生組合員研修会」の様子

渡辺相談員(元コープくらしの相談室)が “行政書士事務所”を開業しました!

当会の元コープくらしの相談室に勤務していた渡辺克枝さんが、2月に行政書士事務所を開業しました。業務内容は、主に相談を含めて、官公署に提出する書類の作成や代理提出です。具体的には、会社設立や各種許認可、そして相続と遺言、離婚、成年後見、法人設立などです。お気軽にご相談下さいますようお願い申し上げます。

行政書士 わたなべ克枝事務所

住 所:札幌市北区北7条西5丁目6-1

ストックマンション札幌305

電 話:011-768-8553 FAX:011-768-8602

E-mail:tohim402@cocoa.ocn.ne.jp